

卷之二

本工場の花火の販賣は毎年圓山の花火場より花火を販賣す

津山子第
一稿書寫
於一九四〇年八月廿日
乙未年夏
月
津山子第
一稿書寫
於一九四〇年八月廿日
乙未年夏
月

卷之三

（協）
鐵工同人總報文稿後件奉到，專司以次之方文所存

清江子曰：「子房之不以爲子房，張良之不以爲張良，此皆其所以成大業也。」

王仲任集卷之二

(協調會勞動課)